

IV

資料

- 1 義援金など
- 2 人的支援
- 3 物的支援
- 4 三郷市
- 5 伊東市

1 義援金など

国、福島県から配分された義援金および広野町への義援金など

(平成26年3月31日時点 件数は延べ件数)

国から配分された義援金	25億3110万5280円
福島県から配分された義援金	3億6731万円
広野町に直接寄せられた義援金	1億9977万8039円 (2,183件)
合 計	30億9819万3319円
寄付金のうち子ども未来基金原資	498万1228円 (21件)

※「子ども未来基金」は、広野町の子どもたちのために役立ててほしいという意図で寄付された皆さんの意向に沿うように、用途を明確にした基金を積み立てるものです。



歌手のさだまさしさんと南こうせつさんが義援金を持参 (平成23年10月24日)

2 人的支援

広野町へ人的支援をした官公庁、企業など(平成26年3月31日までの延べ人数、順不同)

○政府 120人

内閣府 6人、復興庁 1人、財務省 9人、農林水産省 46人、経済産業省 58人

○広域自治体 25人

福島県 15人、東京都 4人、長野県 2人、大阪府 4人

○基礎自治体 136人

三郷市 5人(埼玉県)、千葉市 9人(千葉県)、港区 3人、新宿区 3人、墨田区 3人、江東区 12人、品川区 3人、目黒区 3人、大田区 3人、世田谷区 6人、渋谷区 3人、中野区 3人、杉並区 3人、北区 3人、荒川区 3人、板橋区 10人、練馬区 6人、足立区 12人、葛飾区 7人、江戸川区 3人(以上、東京都)、岐阜市 3人(岐阜県)、静岡市 4人、伊東市 2人(以上、静岡県)、一宮市 1人、愛西市 1人、清須市 2人(以上、愛知県)、京都市 3人(京都府)、高槻市 1人(大阪府)、出雲市 8人(島根県)、宮崎市 8人(宮崎県)

○団体

福島県看護協会 2人

○企業

東京電力株式会社 3076人



広野町の復興のために全国から集まった派遣職員(平成24年5月16日)

3 物的支援

○物資（資料が現存するものだけを掲載）

食料

アルファ米 5,409食、缶詰類 404缶、ジュース類 1,368本、カレー類 738食、クラッカー類 519箱（缶）、シリアル 120箱、粉ミルク 77缶（箱）、離乳食 8食、スープ 60缶、飴 180袋、ドリンクゼリー 1,293食

衣料品など

下着、毛布、レインコート、長靴ほか多数

衛生用品

トイレットペーパー 6,260巻、ティッシュペーパー 4,561箱（袋）、ごみ袋 12,000枚、生理用品 16,927包、マスク 78,553枚、おむつ 1,334包、せっけん類 8,407個（本）、ウェットティッシュ類 18,747包、消毒液 1,838本、洗剤 61,333本（箱）、歯ブラシ類 7,557本、歯磨き粉 139本、シャンプー 1,950本、洗浄綿 178包、熱取りシート 224包、入れ歯洗浄剤 13,088包、水袋 200個

雑貨類

タオル類 20,704枚、カイロ 4,666枚、ポリタンク 513個、電池 4,680本、傘 610本、椀類 1,085個、皿類 195枚、箸 14,280膳、スプーン 400本、フォーク 130本、コップ類 863個、哺乳瓶 100本、お盆類 144枚、手袋 2,644組、湯たんぽ 12個、カセットボンベ 248本、スポンジ 6,240個、布テープ 284巻、ハンカチ 293枚、ラップ 2,471本、レジャーシート 52枚、風呂敷 63枚、吸収缶 25個、しゃもじ 27本、タッパ 25個、調乳セット 1組

家財道具など

自転車 63台、全自動洗濯機 17台、全自動乾燥器 5台、テレビ 2台、ランドセル 67個、卓上コンロ 3台、ポット 25台、LEDライト 240本、携帯ラジオ 18台、体温計 20本、血圧計 1台、椅子 18脚、机 9脚、工具セット 31組

携帯電話（貸与、順不同）

ソフトバンクモバイル株式会社、KDD I 株式会社（au）、株式会社NTTドコモ

○車両（平成26年3月31日まで、順不同）

サウジアラビア ABDUL LATIF JAMEEL社

成都正恒动力配件有限公司

ワタナベ様（埼玉県）

プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

大阪城南ロータリークラブ・台湾豊原北区ロータリークラブ

東亜合成株式会社

本田技研工業株式会社（貸与）



大阪城南・台湾豊原北区の両ロータリークラブが軽トラックを寄贈（平成25年5月22日）

掲載させていただいたのは、頂戴したご支援のうちの一部です。

これ以外にも、ボランティアなどの人的支援、食料品や衣料品などの物的支援を全国の皆さんから頂きました。

尊いご厚志に、心から感謝いたします。

4 三郷市

広野町と埼玉県三郷市とは、常磐自動車道で結ばれていて時間的な距離は近いにもかかわらず、地理的には同時被災の可能性が少ないことから、平成20年7月29日に広野町役場で「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

三郷市は、東日本大震災の直後から広野町に食料などの支援物資を輸送するとともに、給水車を派遣しました。そして、瑞沼市民センターに一次避難所を開設して、最大で267人の町民を受け入れ、小学生14人と中学生8人が平成23年度の1学期まで三郷市の学校へ通いました。

また、平成23年12月から継続して広野町へ職員を派遣し、現在も継続中です。

5 伊東市

広野町と静岡県伊東市とは、20年以上前に広野小学校器楽部と広野町公民館弦楽器教室が、伊東市少年少女合唱団と交流したことをきっかけとして、長く交流が続いていて、「伊東温泉めちやくちゃ市」にも出店を続けています。広野町は、平成19年10月、広野町で生まれ育ち、伊東市でホテル経営の傍ら、伊東市少年少女合唱団の顧問も務める北岡貴人さんを、広野夢大使に任命しています。

広野町と伊東市とは、震災直後の平成23年7月28日に広野町役場湯本支所で「災害時等の相互応援に関する協定」を締結しました。伊東市は、その協定に基づき、平成23年12月に2人の保健師を広野町へ派遣しています。また、伊東市の合唱団シャンテは、ひろの童謡まつり音楽祭に出演し、広野町など被災地の様子をまとめたパネル展示をするなど、広野町を支援しています。



ひろの童謡まつり音楽会で歌う合唱団シャンテ（平成25年10月20日）